

新聞

発売元/ファミコン通信編集部
株式会社アスキー
〒107-24 東京都港区南青山6-11-1
スリーエフ南青山ビル
電話番号03-3486-7111(大代表)
【第61号】
平成4年11月13日発行

ジョブ特集追加情報! な、なんとバッツが踊り子に!?

いよいよジョブの紹介も大づめを迎えた。今週は、あっと驚くジョブを紹介してしんぜよう。おなじみの吟遊詩人に、初登場の薬師、そして踊り子だ!

さらに能力アップ! 使える吟遊詩人

吟遊詩人っていうと、なんとなく弱そうなイメージを受けない? 実際、体力や防御力はそんなに高くはないんだけど、今回の吟遊詩人はこれまでとひと味違うのだよ。最大の特徴は、“うたう”という能力がパワーアップしたこと。体力を回復してくれる“たいりよくのうた”をはじめ、多種多様な作用を持つ、不思議な歌を歌ってくれるのだ。こりゃありがたい!

■吟遊詩人

『Ⅲ』から登場。その歌声は、モンスターの邪悪な精神に働きかけ、精神的ダメージを与える作用がある。

どんな能力がある!? 異色のジョブ踊り子

このジョブに関しては、特別大サービスで、レナのグラフィックをお見せしちゃおう。やっぱり踊り子っていったら女の子だよな。

このジョブには不思議な能力が隠されている。そのなかでも極めつけなのが“おどる”。戦闘中にいきなり敵と踊り出しちゃったりするぞ。もちろんただ踊るだけじゃない。ちゃっかり敵のHPをいだけいちゃってるのだ。このほかにもいろいろな踊りを披露してくれるぞ。

でも、衣装が薄っぺらなので防御力は期待できない。余裕のあるときに選択したいジョブだ。



◆こちらはバッツの踊り子姿。……まーなんというかその、あんまり戦闘には似つかわしくない姿ね。ガラフなんてどんな衣装を着るんだ? うう。



■踊り子

これまで街のなかで踊りを披露してくれるだけだったが、今回はどう活躍するのか?

ギルバートよりさらに使える吟遊詩人!

(かくれる) 敵のターゲットから一時的に外れることが可能。



(たてごとそらび) 堅琴を装備できるようになる。



◆堅琴が装備できるのは吟遊詩人だけ。魔力もアップするし、一石二鳥やね。

(うたう) さまざまな効果のある歌を歌う。



◆この歌は、戦闘中の味方の体力をじょじょにアップさせる効果があるのだ。

小柳ルミ子夫妻も真っ青、踊り子のアビリティ

(いろめ)

モンスターが興奮してしまうのだ。



(おしん)



さまざまな踊りを踊って、敵にダメージを与える。上の写真の踊りは、敵のHPを吸い取る。

(リボンそらび)

リボンが唯一装備できるジョブだ。

一度に全員を生き返らせる

おそろべき ニュージョブ 薬師のすべて!!

治療系アイテム使うなら薬師におまかせ!

最後に控えしはこの薬師。困ったときに役立つジョブなのだ。その能力のすべてを紹介しよう。

せせい 死んだ仲間全員を、一度に生き返らせることができる。

ちゆ 毒や盲目、麻痺などの状態に陥った仲間全員を、一度に正常な状態に戻す。

くすりのちしき ポーションやエーテルなど、回復系の薬を使うと、回復量が通常の2倍になる。

■薬師

その名のとおり、薬にかけては超一流のエスパー。薬に関する知識が豊富で、薬物に対する耐性がある。



■ポーションとエーテル。違う作用を持つふたつの薬を選択する。そうすると、道具屋で売られていない薬を作り出すことができる。これが「ちょうごう」だ!



■なんとエクスポーションを作り出してしまった! そう、今回エクスポーションは市販されていない。HPとMPを一度に回復できるのは、この薬師だけなのだ。



■もっとも注目すべき薬師のアビリティ「せせい」。死んでしまった仲間を一度に生き返らせるのだ!



ほかにもスゴいアビリティがあるぜ!

(のむ) さまざまな効果のある薬を飲めるのだ。



■いろいろな薬を売っている。それじゃ「きよじんのくすり」ってのを飲もう。

■なんと、最大HPおよび現在のHPを、それぞれ2倍にする作用があるのだ。

(ちょうごう) ふたつの薬から、違う薬を作れてしまう。



■異なるふたつの薬を調合することに、

■ほーら、攻撃系の薬だってできちゃって、まったく違う薬を作る。

■うんですぜ。まったくもって恐るべし。

FFこだわりインタビュー

開発秘話の巻

先週号でお伝えした『FF』開発チームのインタビューは、読んでもらえたかな? 今週は、そのインタビューのこぼれ話をお伝えしようぞ。語るは音楽を担当した、植松伸夫氏だ。

—『FF』シリーズの作曲をずっと手がけてこれたわけですが……。

植松 『FF』っていうと、下げられない線みたいなものがあるでしょ。これ以上三枚目になっちゃだめ、つ

ていう。そのへんをキープしなきゃならないのがつらいですね。

—『V』の作曲を終えられて、いちばん苦労なされた点はどこですか。

植松 今回はね、最初にオープニングの曲を作って、最後にエンディングの曲を作ったんですよ。どちらも1日かけずにね。

—1日!?

植松 っていうと語

弊があるかな。作曲っていうのは、イメージが湧いたら、曲ができたも同然なんです。でも、その曲をふくらませるのに時間がかかる。それが今回いちばんしんどかったなあ。



■インタビューの合間にも冗談をほんほん飛ばす、楽しい人なのだ。

FFなんでも図鑑

リレイズ



■シーボッツは、まさきに倒さないで、まっさに逃がしてしまおう。

『FFIV』に登場したモンスター、シーボッツが用いた回復系呪文。シーボッツは必ず徒党を組んで現われ、しかもほかの敵をさきに倒すと、この呪文を唱えた。この呪文には、死んだ仲間を一度に生き返らせる作用がある。古くはミシディアの魔道士にも使いこなせるものが存在したという話だが、現在ではこの呪文の作用すら知らない魔道士も多い。そしていつか、精神

力の高いシーボッツ族が、この魔法を会得するに至った。いまなお研究が続けられていて、どうやら速さとなんらかの関係があるものと見られている。